



平成20年3月3日

各位

会社名：株式会社アルチザネットワークス
代表者名：代表取締役社長 床次 隆志
(コード番号：6778 東証マザーズ)
問い合わせ先：管理本部長 清水 政人
(連絡先：042-529-3494)

平成20年7月期中間業績予想の修正及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年7月期(平成19年8月1日～平成20年7月31日)の業績予想について、平成19年9月6日付当社「平成19年7月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成20年7月期 中間期業績予想の修正(平成19年8月1日～平成20年1月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年9月6日 発表)	1,560	424	425	253
今回修正予想(B)	1,732	594	601	429
増減額(B-A)	172	170	176	176
増減率(%)	11.0	40.1	41.4	69.8
(ご参考) 前年中間期実績 (平成19年1月期) 実績	1,092	308	308	132

2. 平成20年7月期 通期業績予想の修正(平成19年8月1日～平成20年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年9月6日 発表)	2,700	600	602	357
今回修正予想(B)	2,700	600	611	433
増減額(B-A)	—	—	9	76
増減率(%)	—	—	1.5	21.3
(ご参考) 前年通期実績 (平成19年7月期) 実績	2,490	552	556	307

3. 業績予想修正の理由

平成20年7月期中間期の売上高は、モバイルネットワークテストが好調に推移した結果、計画比172百万円増加となりました。利益面では、次世代移動体通信向け研究開発費が増加したものの、売上高の増額分が寄与したことにより、それぞれ計画比で、営業利益170百万円増、経常利益176百万円増となる見通しです。なお、中間純利益は、増収分に加え、過去に評価損計上した投資有価証券の税務計算上の損金算入が認められることにより、176百万円増となる見通しです。

通期の業績予想につきましては、中間期に売上高が当初の計画に対して増加いたしました。増加要因は下期に計画していた案件の時期移動によるため、通期の売上高については2,700百万円で当初の予想と変更はございません。また、営業利益につきましても、次世代移動体通信向けの研究開発費が引続き発生することから、当初の予想の営業利益600百万円に変更はございません。なお、経常利益・当期純利益につきましては、中間期の結果を踏まえ、当初の予想に対して経常利益は611百万円（計画比9百万円増）、当期純利益は433百万円（計画比76百万円増）となる見通しであります。

(注) 本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

以 上